
memory

Archer

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

memory

【コード】

N0077BA

【作者名】

Archer

【あらすじ】

第五次聖杯戦争、始まりを告げてから一週間と五日後、幕を閉じた。

衛宮士郎（自分）との死闘の末、勝ったのがArcher・・・。

彼の願いは達成されたが、そこに何が残るのだろうか。

衛宮士郎が死んだなか、Archerはどうなったのか。

そして、完璧な『正義の味方』であり続けた英霊の末路は。

(前書き)

これはFateのifストーリーです。内容はunlimited blade worksで勝ったのはArcherであるという話です。彼が勝者の場合、どうなったかを書いていこうと思います。尚、予備知識などがあるとより楽しめるかもしれません。

皆様に少しの時間にも読んでもらえる様、努力しますのでお付き合い合います。

『約束された勝利の剣!!』
エクスカリバー

今までずっと側で聞いていた懐かしい声。それでも、あの台詞は数えるほどしか聞いてない。

「・・・セイバー」

目の前には彼女の剣が刺さっている。何度も目に焼き付けた穢れ無き黄金の剣。その担い手の名前を呟いてみたが、返って来たのは熱い風のみだった。

「分かってはいたさ。結局、何にも変わらなかったことぐらい」
激昂も、虚しく荒野の彼方へと霞んで消えていった。

時間を遡ることが可能ならば・・・!

『私の願いはただ一つ、王の選定をやり直すことです。私が守れなかった、ブリテン国を守るために』

そんな事を考えていたら、彼女の声が聞こえてきた。そういえば、彼女は時間を巻き戻すことを願っていたな。

それについて色々と口論をしたもんだ。可笑しな話だ。他人の願いについてどうのこうの言っつて、挙げ句自分の願いを突き通そうとするなんて。

「・・・」

気付いたら笑ってた。その笑みは昔の出来事を懐かしんだモノなのか、自分の愚行と愚考に対しての笑いなのか、本人にも分からないだろう。

赤い外套を着た少年は歩きだす。黄金の剣に別れを告げるかの様

に・・・。

第五次聖杯戦争、始まりを告げた一週間と五日後、勝者を出さずに幕を閉じた。

(後書き)

今回は全て終わった後のArcherの想いみたいな物です。
少し短すぎたかもw

しかし、気になる展開で終わらせるっというのも難しいですね！。

初心者なりに頑張りますんで！
ではノシ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0077ba/>

memory

2011年12月31日02時47分発行